

ワンランク上の ライブラリアンへ

中堅職員ステップアップ研修



研修事業委員会では、図書館職員の資質向上をめざした体系的な研修「中堅職員ステップアップ研修」を企画・実施しています。概要は次のとおりです。詳しくは、それぞれの開催案内で確認してください。

★2026年度のスケジュールは決まり次第HPで発表します。

	中堅職員ステップアップ研修(1)		中堅職員ステップアップ研修(2)			
★スケジュール	申込期間:6月中旬～8月下旬 実施期間:10～12月[6日間12科目]		申込期間:3月中旬～5月下旬 実施期間:7、9～10月[12～13日間24科目]			
開催方法	2026年度:全科目オンライン(Zoom)		2026年度:4科目対面、20科目オンライン(Zoom)			
対象	司書・司書補資格取得後、図書館勤務経験3年以上(※1)		(1)(2)の条件をすべて満たす方 (1) 司書・司書補資格取得後、図書館勤務経験7年以上(※1) (2)①～④のいずれかに該当する方 ① 次のいずれかの研修を修了した方(JLA中堅職員ステップアップ研修(1)、文部科学省図書館地区別研修、社会教育実践研究センター図書館司書専門講座) ② 外部の図書館研修講師を経験した方 ③ 図書館関係団体での発表活動(研究集会などでの発表や著作物の発表)をした方 ④ 顕著な図書館活動をしているとして自己申告ができる方 ※②～④については過去3年を対象とします			
受講料	一般	正会員(※2)	全科目受講	一般	正会員(※2)	
部分受講 1科目 *前年度の 全科目受講者の 未受講科目 受講に限り受付	35,000円	20,000円	全科目受講	96,000円	84,000円	
	3,000円	2,000円	領域単位	1 図書館を運営する(8科目)	32,000円	28,000円
				2 資料・情報との出会いを創出する(5科目)	20,000円	17,500円
				3 図書館・情報インフラを発展させる(6科目)	24,000円	21,000円
				4 評価し、改善する【対面】(4科目)	16,000円	14,000円
				5 トピック(1科目)	4,000円	3,500円
修了証 交付条件	全科目(12科目)を受講した方には、修了課題を提出していただき、審査の上、修了証を交付します。なお、部分受講の場合は、連続する2年間で全科目を受講した方が、修了課題提出の対象となります。			全科目(24テーマ)を受講した方には、修了証を交付します。領域単位で受講した場合は、連続する2年間で全科目を受講した方が交付の対象となります。		

研修内容は、主に公共図書館向けです。

※1 図書館勤務経験は図書館現場での勤務経験年数を指します。

※2 個人会員および施設等会員。施設等会員のうち施設会員Aは5名、施設会員Bは4名、施設会員Cは2名まで受講できます。

詳細はHPでご確認ください <https://www.jla.or.jp/>

問合先:日本図書館協会 研修事業委員会担当

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

E-mail:kenshu@jla.or.jp TEL:03-3523-0811(代表)

＜中堅職員ステップアップ研修（1）＞

各内容は2025年度実施のものです。

領域	区分	科目名	講師
1	1.社会の変化に対応する図書館サービス	図書館サービスと著作権	長谷川 清(さいたま市立北図書館)
2		多文化サービス	阿部 治子(日本図書館協会多文化サービス委員会)
3		図書館の自由	鈴木 崇文(名古屋市瑞穂図書館)
4	2.高度かつ専門的な図書館の知識・技術の向上	図書館政策の動向と図書館経営	中沢 孝之(白河市立図書館)
5		図書館のサービス計画	北澤 梨絵子(塩尻市立図書館)
6		図書館運営の評価と指標	浴 靖子(東大和市立中央図書館)
7		レファレンスツールの評価	松井 涼真(大阪府立中央図書館)
8		レファレンスインタビューの方法	岩永 知子(相模原市議会議会局、認定司書)
9		レファレンスクエスチョンの処理	西尾 真由子(大阪市立中央図書館)
10	図書館資料	コレクションづくりの考え方	村上 さつき(松戸市立図書館、認定司書)
11		コレクションづくりの実際	
12	3.図書館の理解を深めるための関連トピック	生成AIとは何か、図書館における協働の可能性	中島 玲子(慶應義塾大学文学部)

＜中堅職員ステップアップ研修（2）＞

領域	テーマ	講師
1	1.図書館を運営する	政策動向の分析
2		自治体行政と図書館経営の基本
3		県立図書館と県域サービス
4		災害と図書館
5		図書館サービス計画の立案・策定(1)
6		図書館サービス計画の立案・策定(2)
7		策定計画の発表と討議(1)
8		策定計画の発表と討議(2)
9	2.資料・情報との出会いを創出する	ネットワーク時代の図書館と図書館員
10		情報リテラシー支援(1)
11		情報リテラシー支援(2)
12		情報ニーズと図書館
13		電子資料の動向
14	3.図書館・情報インフラを発展させる	情報資源の管理と提供
15		情報資源の組織化と提供の実際
16		図書館システムの機能と要件
17		図書館システムの要件定義の実際
18		Web を活用した図書館サービスの設計
19		Web を活用した図書館サービスの実際
20	4.評価し、改善する 【対面】	図書館経営の評価
21		図書館経営の評価実践
22		情報サービスの評価の方法
23		情報サービス評価の実際
24	トピック	図書館でのゲームサービスの事例と実践
		高倉 晓大(近畿大学ビブリオシアター、認定司書)

必ず詳細を＜日本図書館協会 HP＞でご確認ください。

<https://www.jla.or.jp/>